

令和4年（2022年）10月6日

やまがた社会共創プラットフォームを設置 ～全国屈指の地域連携プラットフォームが山形に誕生します～

【本件のポイント】

- 地域が抱える課題を共有し、その解決に向けて関係諸団体が恒常的に議論する場として、本学が事務局として運営を行う地域連携プラットフォーム「やまがた社会共創プラットフォーム」を設置することとした。
- 本プラットフォームには、山形県内の13の高等教育機関、山形県と35の市町村、県内の10の主要関係団体が加盟している。このように多様な業種の団体の参加、全市町村の直接参加している例はなく、全国屈指の規模を誇る地域連携プラットフォームとなる。
- 令和4年10月13日（木）に第1回目の協議会をホテルメトロポリタン山形にて開催する。

【概要】

これまで、各地域単位で、地方自治体や産業界、そして高等教育機関が、それぞれの立場で地域課題の解決に向け、様々な取組を行ってきました。しかしながら、地域の課題は多様な要素が絡む複雑なものが多く、また絶えず変化もしており、もはや、地方自治体、産業界、高等教育機関、それぞれの立場からの努力だけでは、課題の解決やイノベーションを創出することは限界になってきております。

このような状況を踏まえ、本学は、地域を支える地方公共団体、産業界、高等教育機関等が一堂に会し、地域が抱える課題を共有し、その解決に向けて関係諸団体がお互いの立場を越えて、同じテーブルで議論を交わす必要があると考え、地域連携プラットフォーム「やまがた社会共創プラットフォーム」の設置に至りました。

本プラットフォームには、趣旨に賛同いただいた山形県内全ての高等教育機関（13機関）、山形県と県内35全市町村、山形県商工会議所連合会、山形県銀行協会、山形県経営者協会、山形県医師会など10の県内主要関係団体、あわせて59機関が加盟しています。これは、全国でも稀にみる規模のプラットフォームとなります。

活動の第1歩として、令和4年10月13日（木）に第1回目の協議会を開催します。本協議会を皮切りに、加盟機関に対するヒアリングなどを行い、山形県内の地域課題を共有し、県内高等教育機関と関係機関が課題克服に向けた具体的な事業を実践する場を構築していきます。

そして、山形県内における産学官金医の連携の下、地域を支える多様な人材の育成及び県内産業の変革に貢献できる人材を創出するとともに、高等教育機関が有する様々な知的資源の更なる活用による地域の新たな価値を創出することにより、地域の持続的発展に貢献していく所存です。



【やまがた社会共創プラットフォーム 第1回協議会の概要】

日時：令和4年10月13日（木） 13：00～14：45

場所：ホテルメトロポリタン山形 4F 霞城の間（対面＋オンラインのハイブリッド開催）

内容：事業概要説明、講演（京都大学人と社会の未来研究院 広井 良典 教授）等

※終了後、参加者で記念撮影を行います。

その他：（当日の取材について）

取材をご希望の方は、当日12：40までに会場にお越しいただき、受付手続きを行ってください。

お問い合わせ

やまがた社会共創プラットフォーム事務局／山形大学社会共創推進室

TEL 023-628-4615 メール yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

つながろうやまがた。紡ごう未来を。

やまがた社会共創 プラットフォーム

やまがた社会共創プラットフォームは、

様々な知的資源を有する山形県内の

高等教育機関、地元の産業界、金融界、医療界、

山形県及び県内自治体が密接に連携し、

地域の課題解決と新たな価値の創出に取り組み、

個人及び地域社会の

ウェルビーイング（幸福）に貢献し、

地域の持続的発展を目指します。

1. 様々な立場・角度から地域課題を深掘りし、ニーズオリエンテッドの教育・研究・社会連携を追求する。
2. 地域の貴重なリソース（資源）・優れた連携実績を収集整理・データ化・視覚化し、共有・活用する。
3. 様々な機関が出会い、課題（ニーズ）と解決のための各種資源をマッチングする場となる。
4. 課題解決のための事業化の企画・実装の支援・先導をする。

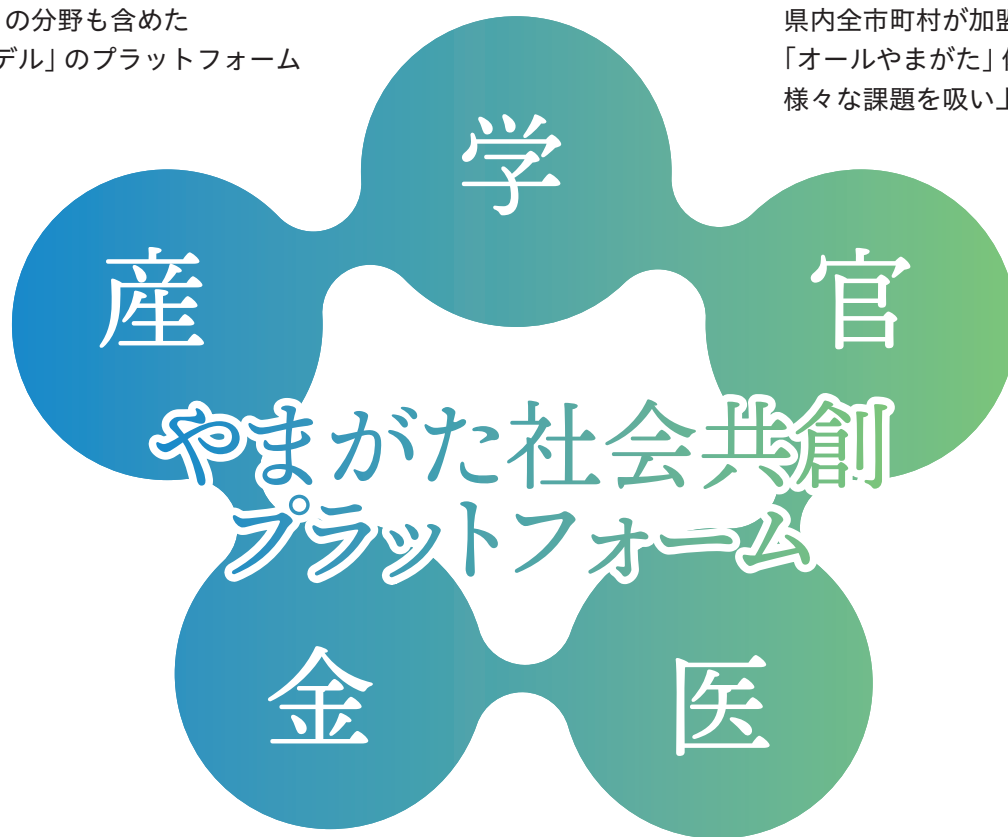
地域課題を共有し、解決に向けて 「オールやまがた」で取り組みます！

産学官金医の連携

「健康・医療」の分野も含めた
「やまがたモデル」のプラットフォーム

全国屈指の規模

県内全市町村が加盟する
「オールやまがた」体制により、
様々な課題を吸い上げ、見える化



課題解決に向けた事業実践の場

同じテーブルで恒常的に話し合い、
地域課題を共有・明確化し、具体的な方策を実践

1. 5つのテーマを設定「地域人材育成」「地域産業振興」「健康長寿支援」「地域活性化支援」「環境保全」
各テーマに係る地域固有の具体的な課題について、参加機関が連携して解決に取り組む。
2. 特に以下について、共通の重点事項とし、全加盟機関が総力を挙げて取り組む。
 - ①山形県内大学生の地元定着率向上（Uターン学生含む）
 - ②山形県内高等学校からの県内大学進学率向上
 - ③女性の活躍・地域定着
3. プラットフォームの活動状況を積極的に県民に広報し、利用価値の周知を図ることにより、
新たな事業化や自走化を推進し、プラットフォームの持続可能性を高める。

各高等教育機関の 取り組み例

羽陽学園短期大学

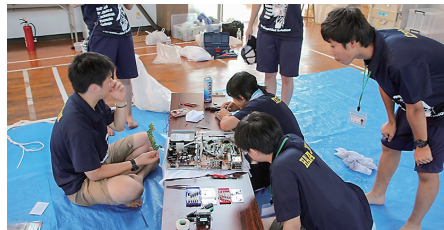
舟形町との保育事業に関する連携



町立ほほえみ保育園における研修会や短大附属園等の視察などを通じて、保育者の資質向上に寄与します。【連携自治体：舟形町】

鶴岡工業高等専門学校

テクノ・パラメディック（技術の救急隊）



物流の不便な県内唯一の離島（飛島）を舞台に、「日頃の学修を地域のために」をスローガンとした家電修理などの技術提供型ボランティア活動を行っています。【輝けやまがた若者大賞（山形県）】をはじめ、受賞多数【連携自治体など：酒田市、酒田市教育委員会など】

東北芸術工科大学

善寶寺五百羅漢修復プロジェクト



善寶寺（鶴岡市）に安置される500体の仏像を修復する事業です。本学文化財保存修復研究センターが2015年度より修復を開始し、概ね20年間をかけて完了する予定です。

東北公益文科大学

公開講座「共創の技法」 （大学院修士課程科目の公開講座）



地域づくりにおける協働・共創の技法であるファシリテーションを、ワークショップ等で実践的に学びます。【連携自治体：鶴岡市】

東北文教大学

高大連携事業で山形城北サマーチャレンジを開催



山形城北高校1年63名が、大学で専門性のある学びを体験し、進学への期待を持つことを目的に実施したものです。

山形県立農林大学校

農林大学校「農大市場」の開催



農林大学校では、生産・製造した農作物、農産加工品を地域の方に販売する「農大市場」を年間4回開催しています。

山形県立米沢栄養大学

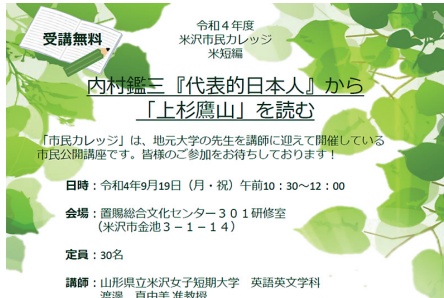
山形県減塩・ベジアッププロジェクト事業



山形が誇る豊かな食を楽しみながら、「健康長寿日本一」を目指し、オールやまがたで「減塩」「野菜摂取量の増加（ベジアップ）」に取り組むプロジェクトです。【連携自治体：山形県】

山形県立米沢女子短期大学

米沢市民カレッジ



学園都市推進協議会では、地域と地元大学との交流事業の一環として、大学の教員を講師に迎えた市民公開講座「米沢市民カレッジ」を開催しています。【連携自治体など：学園都市推進協議会（米沢市、米沢商工会議所など）】

山形県立産業技術短期大学校

ドローン（UAV）チャレンジ



小学生を対象にしたドローンチャレンジを実施し、ドローンを使う目的や操作方法を学び、土壌へ興味を持つ機会を作りました。

放送大学山形学習センター

いつでも・どこでも・誰でも学べる大学



本センターで開講する面接授業では地域の方を講師に迎え、山形を知るフィールドワーク中心の授業を行っています。

山形工科短期大学校

歴史的建造物の調査



所有者が保存すべきか検討している歴史的建造物について、調査を行ってその歴史的価値を明らかにし、今後の保存活用に繋がります。

山形県立保健医療大学

保健医療大学発 - 看護実践研究センター



県内の看護職を対象とした学び直し、研究指導、情報発信等により、山形県の看護実践水準の向上を図ります。

山形大学

-YEX- 山形大学エクステンションサービス



だれもが安心して、新たな目標にチャレンジできる「学び」を提供するリカレント教育を実施しています。

全国屈指の総合型地域連携プラットフォームが 令和4年秋、山形県に誕生します。

地域が抱える「課題」は、複雑で困難なものが多く、また絶えず変化しています。

もはや、地方公共団体、教育機関、産業界、それぞれの立場からだけで、

地域の課題解決やイノベーションを創出することは困難な状況です。

これからは、日本の人口は減り続けるという事実、正面から向き合い、

大学等の高等教育機関だけでなく、地方公共団体や産業界等が、

地域社会のビジョンや高等教育を取り巻く現状について、共有・理解を図り、
お互いの立場を越えて、恒常的に同じテーブルで議論を交わす必要があります。

そのために、山形県内の地方自治体、産業界、高等教育機関、

金融界、医学会が一体となって山形県内の地方創生について議論する場

「やまがた社会共創プラットフォーム」を令和4年秋、設置します。

やまがた社会共創プラットフォーム加盟機関

地方自治体（山形県及び山形県内 35 全市町村）

山形県、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、
天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、
大石田町、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、高畠町、川西町、
小国町、白鷹町、飯豊町、三川町、庄内町、遊佐町

経済団体等（計 10 機関）

山形県経営者協会、山形県商工会議所連合会、山形県銀行協会、山形県商工会連合会、
山形経済同友会、山形県中小企業団体中央会、山形県中小企業家同友会、山形県医師会、
山形県教育委員会、山形県高等学校長会

高等教育機関（計 13 機関）

羽陽学園短期大学、鶴岡工業高等専門学校、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、
東北文教大学、放送大学山形学習センター、山形県立産業技術短期大学校、
山形県立農林大学校、山形県立保健医療大学、山形県立米沢栄養大学、
山形県立米沢女子短期大学、山形工科短期大学校、山形大学（事務局）

令和4年10月13日現在

問い合わせ先

やまがた社会共創プラットフォーム事務局（国立大学法人山形大学 社会共創推進室内）

〒990-8560 山形市小白川町一丁目 4-12 Tel: 023-628-4615 / Fax: 023-628-4013

Mail: yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp